〔参考〕ＰＦＣ熱量比率、食料自給率及び飼料需給表

1　平成27年度におけるＰＦＣ熱量比率は、前年度に比べたんぱく質（Ｐ）が0.1ポイント上昇、脂質（Ｆ）が0.3ポイント上昇、糖質（炭水化物）（Ｃ）が0.4ポイント下落した。

2　食料自給率（供給熱量総合食料自給率）は、国産供給熱量が前年度に比べ3kcal増の954kcal、供給熱量が前年度に比べ5kcal減の2,417kcalとなったことから、前年度同の39％となった。

○　たんぱく質、脂質、糖質（炭水化物）の供給熱量割合（ＰＦＣ熱量比率）

	たんぱく質（Ｐ）		脂　　質（Ｆ）		糖質（炭水化物）（Ｃ）	
昭和40年度	12.2	(11.9)	16.2	(15.7)	71.6	(72.4)
50	12.7	(12.3)	22.8	(21.9)	64.5	(65.8)
60	12.7	(12.1)	26.1	(24.9)	61.2	(63.0)
平成7年度	13.3	(12.6)	28.0	(26.6)	58.7	(60.8)
17	13.1	(12.1)	28.9	(26.8)	58.0	(61.1)
18	13.0	(12.0)	29.1	(26.9)	57.9	(61.1)
19	12.9	(12.0)	28.8	(26.6)	58.3	(61.4)
20	13.0	(12.0)	28.9	(26.5)	58.1	(61.5)
21	13.0	(11.8)	28.5	(25.8)	58.5	(62.4)
22	13.0	(12.0)	28.3	(25.9)	58.7	(62.1)
23	13.0	(12.0)	28.6	(26.2)	58.4	(61.8)
24	13.1	(12.1)	28.6	(26.2)	58.3	(61.7)
25	13.0	(11.9)	28.6	(26.1)	58.4	(61.9)
26	12.8	(11.8)	29.2	(26.8)	58.0	(61.4)
27（概算）	12.9	(11.8)	29.5	(27.0)	57.6	(61.1)

注１：昭和40年度～59年度は、科学技術庁「四訂日本食品標準成分表」、60年度～平成20年度は、「五訂日本食品標準成分表」、平成21年度～平成25年度は、「日本食品標準成分表２０１０」、平成26年度・平成27年度は「日本食品標準成分表２０１５」を適用した。
　２：（　）は、酒類を含んだ場合の供給熱量割合である。

○食料自給率の推移

（単位：%）

		昭和40年度	50	60	平成7年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27（概算）
品目別自給率	米	95	110	107	104	95	94	94	95	95	97	96	96	96	97	98
	うち主食用					100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	小麦	28	4	14	7	14	13	14	14	11	9	11	12	12	13	15
	大麦・はだか麦	73	10	15	8	8	8	9	11	8	8	8	8	9	9	9
	いも類	100	99	96	87	81	80	81	81	78	76	75	75	76	78	76
	かんしょ	100	100	100	100	93	92	94	96	94	93	93	93	93	94	94
	ばれいしょ	100	99	95	83	77	76	77	76	73	71	70	71	71	73	71
	豆類	25	9	8	5	7	7	7	9	8	8	9	10	9	10	9
	大豆	11	4	5	2	5	5	5	6	6	6	7	8	7	7	7
	野菜	100	99	95	85	79	79	81	82	83	81	79	78	79	79	80
	果実	90	84	77	49	41	38	40	41	42	38	38	38	40	42	40
	みかん	109	102	106	102	103	94	99	99	101	95	105	103	103	104	100
	りんご	102	100	97	62	52	52	49	54	58	58	52	55	55	56	59
	肉類(鯨肉を除く)	90 (42)	77 (16)	81 (13)	57 (8)	54 (8)	56 (7)	56 (8)	56 (8)	57 (7)	56 (7)	54 (8)	55 (8)	55 (8)	55 (9)	54 (9)
	牛肉	95 (84)	81 (43)	72 (28)	39 (11)	43 (12)	43 (11)	43 (12)	44 (12)	43 (11)	42 (11)	40 (10)	42 (11)	41 (11)	42 (12)	40 (11)
	豚肉	100 (31)	86 (12)	86 (9)	62 (7)	50 (6)	52 (5)	52 (6)	52 (6)	55 (6)	53 (6)	52 (6)	53 (6)	54 (6)	51 (7)	51 (7)
	鶏肉	97 (30)	97 (13)	92 (10)	69 (7)	67 (8)	69 (7)	69 (7)	70 (8)	70 (7)	68 (7)	66 (8)	66 (8)	66 (8)	67 (9)	66 (9)
	鶏卵	100 (31)	97 (13)	98 (10)	96 (10)	94 (11)	95 (10)	96 (10)	96 (10)	96 (10)	96 (10)	95 (11)	95 (11)	95 (11)	95 (13)	96 (13)
	牛乳・乳製品	86 (63)	81 (44)	85 (43)	72 (32)	68 (29)	67 (27)	66 (27)	70 (30)	71 (30)	67 (28)	65 (28)	65 (27)	64 (27)	63 (27)	62 (27)
	魚介類	100	99	93	57	51	52	53	53	53	55	52	52	55	55	54
	うち食用	110	100	86	59	57	60	62	62	62	62	58	57	60	60	59
	海藻類	88	86	74	68	65	67	71	71	72	70	62	68	69	67	70
	砂糖類	31	15	33	31	34	32	33	38	33	26	26	28	29	31	33
	油脂類	31	23	32	15	13	13	13	13	14	13	13	13	13	13	12
	きのこ類	115	110	102	78	79	81	83	86	87	86	87	86	87	88	88
飼料用を含む穀物全体の自給率		62	40	31	30	28	27	28	28	26	27	28	27	28	29	29
主食用穀物自給率		80	69	69	65	61	60	60	61	58	59	59	59	59	60	60
供給熱量ベースの総合食料自給率		73	54	53	43	40	39	40	41	40	39	39	39	39	39	39
生産額ベースの総合食料自給率		86	83	82	74	69	68	66	65	70	69	67	67	65	64	66
飼料自給率		55	34	27	26	25	25	25	26	25	25	26	26	26	27	28

（注１）品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率の算出は次式による。
　　自給率＝国内生産量／国内消費仕向量×１００（重量ベース）
（注２）米については、国内生産と国産米在庫の取崩しで国内需要に対応している実態を踏まえ、平成10年度から国内生産量に
　　国産米在庫取崩し量を加えた数量を用いて、次式により品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率を算出している。
　　自給率＝国産供給量（国内生産量＋国産米在庫取崩し量）／国内消費仕向量×１００（重量ベース）
　　なお、国産米在庫取崩し量は、18年度が178千トン、19年度が13千トン、20年度が▲366千トン、21年度が▲148千トン、
　　22年度が150千トン、23年度が224千トン、24年度が▲371千トン、25年度が▲244千トン、26年度が126千トン、27年度が261千トンである。
　　また、飼料用の政府売却がある場合は、国産供給量及び国内消費仕向量から飼料用政府売却数量を除いて算出している。
（注３）供給熱量ベースの総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物については、飼料自給率を考慮して算出している。
　　自給率＝国産供給熱量／国内総供給熱量×１００（供給熱量ベース）
（注４）生産額ベースの総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物及び加工食品については、輸入飼料及び
　　輸入食品原料の額を国内生産額から控除して算出している。
　　自給率＝食料の国内生産額／食料の国内消費仕向額×１００（生産額ベース）
（注５）飼料自給率については、ＴＤＮ（可消化養分総量）に換算した数量を用いて算出している。
（注６）肉類（鯨肉を除く）、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、牛乳・乳製品の（　）については、飼料自給率を考慮した値である。

○飼料自給率

（単位：ＴＤＮ千トン、％）

	需要量	供給量				自給率		
		粗飼料		濃厚飼料				
			うち国内供給		うち純国内産原料	純国内産飼料自給率	純国内産粗飼料自給率	純国内産濃厚飼料自給率
	A	B	C	D	E	（C＋E）／A	C／B	E／D
昭和40年度	13,359	4,519	4,519	8,840	2,771	55	100	31
50	19,867	4,793	4,793	15,074	2,060	34	100	14
60	27,596	5,708	5,278	21,888	2,310	27	92	11
平成7年度	27,098	5,912	4,733	21,186	2,239	26	80	11
17	25,164	5,485	4,197	19,678	2,214	25	77	11
18	25,249	5,500	4,229	19,749	1,967	25	77	10
19	25,316	5,546	4,305	19,770	2,120	25	78	11
20	24,930	5,536	4,356	19,393	2,090	26	79	11
21	25,640	5,393	4,188	20,247	2,155	25	78	11
22	25,204	5,369	4,164	19,835	2,122	25	78	11
23	24,753	5,268	4,080	19,485	2,358	26	77	12
24	24,172	5,225	3,980	18,946	2,206	26	76	12
25	23,955	5,003	3,864	18,952	2,281	26	77	12
26	23,549	4,960	3,885	18,589	2,536	27	78	14
27（概算）	23,767	5,066	3,999	18,701	2,546	28	79	14

資料：生産局畜産部飼料課

注１：ＴＤＮ（可消化養分総量）とは、エネルギー含量を示す単位であり、飼料の実量とは異なる。

２：濃厚飼料の「うち純国内産原料」とは、国内産に由来する濃厚飼料（国内産飼料用小麦・大麦等）であり、輸入食料原料から発生した副産物（輸入大豆から搾油した後発生する大豆油かす等）を除いたものである。

３：昭和59年度までの輸入は、全て濃厚飼料とみなしている。